

意思伝達支援

活動報告会

活動を振り返り、そして未来へとつなぐ



2013年2月1日(金) 午後6時30分~午後9時
北海道難病センター3F 大会議室 (中央区南4西10)

定員 80名 (E-mailまたはFAXでお申込みください)

機器展示も
行います



プログラム

事例発表

「さやかのキセキ11年」 杉原真己さん

脊髄性筋萎縮症の娘・さやかちゃんの母としての立場から、意思伝達装置を使用するようになってからのさやかちゃんの成長についてお話しいただきます。

講演

「コミュニケーション機器の給付制度と人的支援 —現状と課題—」

講師…井村 保(いむら たもつ)先生



井村先生プロフィール

東京大学先端科学技術研究センター学際バリアフリー領域 人間支援工学分野
私学研修員(中部学院大学准教授)。

福祉と工学の学際領域に関心を持ち、障害者・高齢者に情報技術を活用した「支援技術」(Assistive Technology)によるコミュニケーション支援等を行うリハビリテーションエンジニア。このほか、現代社会における情報の活用法や意義など「社会情報学」、最近では補装具等の福祉用具の供給制度の整備にも関心を持つ。

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会監事・「重度障害者用意思伝達装置」導入ガイドライン検討委員長、岐阜県ウェブアクセシビリティに関するガイドライン策定委員長、等を歴任。

【主催・お問い合わせ先】 NPO法人iCareほっかいどう 札幌市中央区南1条西8丁目6-2 CITYビル6F

TEL. 011-222-4462 E-mail jim@icare-h.org

FAX. 011-596-8794 http://icare-h.org/